

# 地域経済活性化 シンポジウム 京都

参加無料

会場参加  
先着  
**150**名様  
事前申込制

テーマ

## 大学発スタートアップが 切り拓く日本の未来

日本政策金融公庫は、中小企業・小規模事業者および農林漁業者の皆さまの活力発揮に向けて、民間金融機関や関係機関と連携した重点事業分野への支援や、地域活性化支援に積極的に取り組んでいます。

本シンポジウムでは、「大学発スタートアップが切り拓く日本の未来」をテーマに、大学、支援団体、金融機関、企業様にご登壇いただき、支援メニューのご紹介、現状の取組み、課題、今後の可能性など、皆さまとともに情報交換を実施します。

### 基調講演



松井 孝治氏



当日ライブ配信

先着**500**名様  
事前申込制

### 【第1部】パネルセッション(支援機関)



関山 健氏



楠美 公氏



安井 幹也氏



斎藤 保氏



田中 一穂



【第1部・第2部】コーディネーター

榎戸 教子氏

2026年  
**5月22日**   
13:00～  
16:15 予定  
(開場 12:30)

京都大学 国際科学イノベーション棟 西館5階  
HORIBAシンポジウムホール  
(京都市左京区吉田本町 吉田キャンパス)

### プログラム

※プログラム内容、登壇者については変更になる場合がございます。  
※登壇者の肩書き等は4月1日時点のものです。

13:00 【開 会】開会挨拶 京都新聞

13:05 【基調講演】松井 孝治氏(京都市長)

13:25 【第1部】パネルセッション(支援機関)

[パネリスト] 関山 健氏(京都大学 リカレント教育センター長 兼 教授)

楠美 公氏(京都大学イノベーションキャピタル株式会社 代表取締役社長)

安井 幹也氏(株式会社京都銀行 取締役頭取)

斎藤 保氏(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長)

田中 一穂(日本政策金融公庫 総裁)

[コーディネーター] 榎戸 教子氏(経済キャスター)

休 憩

14:45

15:00 【第2部】パネルセッション(事例企業)

[パネリスト] 大谷 彰悟氏(株式会社OOYOO 代表取締役CEO)

人羅 俊実氏(株式会社FLOSFIA 取締役会長)

加藤 恵多氏(株式会社FiT 代表取締役)

[コーディネーター] 榎戸 教子氏(経済キャスター)

16:10 【閉 会】閉会挨拶 日本政策金融公庫

 日本政策金融公庫

主催：日本政策金融公庫、京都新聞  
後援：京都市、京都大学リカレント教育センター、  
共同通信社、全国地方新聞社連合会

# 地域経済活性化シンポジウム in 京都

## 応募方法

シンポジウム当日の会場参加・ライブ配信視聴をご希望の方は、  
下記よりお申し込みください。

折り返し、参加証メールまたはライブ配信視聴のご案内を送付いたします。会場へお越しの場合は参加証を  
プリントアウトして当日会場受付までお持ちいただくか、スマートフォン・携帯電話等にてご提示ください。

## 応募受付ホームページ

<https://www.kouko-jimukyoku.jp/kyoto/>

地域経済活性化シンポジウム 京都 検索



※申込先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます。  
※お申し込みは会場参加・ライブ配信のどちらかに限ります。  
※応募者の個人情報は、本シンポジウムの運営および日本  
公庫が催すセミナーなどのご案内のみに利用させていただきます。

## お問い合わせ先

地域経済活性化シンポジウム運営事務局  
メール: [kouko@unei-jimukyoku.jp](mailto:kouko@unei-jimukyoku.jp)  
TEL: 03-5472-1147  
(受付時間 10:00~17:00 土日祝日を除く)

当日の様様を記録したアーカイブ動画を後日、  
公式ホームページにて公開します。  
どうぞご視聴ください。



## 会場案内

住所：  
京都市左京区吉田本町  
吉田キャンパス

## 京都大学

国際科学イノベーション棟 西館5階  
HORIBAシンポジウムホール

## 京都大学 吉田キャンパス



## アクセス

- 京阪「出町柳」より徒歩約20分
- 阪急「京都河原町」よりバス約25分
- JR・近鉄「京都」よりバス約35分
- 市バス「京大正門前」より徒歩約7分



## ご参加される皆さまへのお願い

- プログラム、時間が変更になる場合があります。
- 会場内および配信映像の録音・撮影(写真、ビデオ)はご遠慮ください。(報道関係者を除く)
- シンポジウムの模様は、全内容を報道機関に公開いたします。参加者の写真・映像がニュースや番組、紙面などを通じて報道されることがあります。また、主催者による広報でも使用いたします。